

卒業・進級の春がやってきました。この1年間、どの子どもも成長という階段を一段一段しっかりと上ってきました。しかし、終着駅はまだまだ先。これからも上り続けなければなりません。また、その上り方は一人一人違います。私たち大人はその一人一人の違いを受け入れながら、時に厳しく、そして温かく子どもたちを見守っていききたいものだと思います。

学校便り「福島小ナウ」も今回が本年度最終号となりました。保護者・地域の皆様から寄せられましたご厚情と温かいご支援に対しまして心から感謝申し上げます。

福島子どもフォーラム

2月14日(土)、体育館において本年度の福島子どもフォーラムを開催しました。

1・2年生は生活科で、3～6年生は総合的な学習の時間で、それぞれが実際に体験したり、調べたりした学習をもとに気づいたことや学んだことを自分たちの言葉でしっかりと発表できました。

この学習にはねらいが二つあると考えています。一つは、自分たちが興味をもったことについて、きちんとめあてを決めて一生懸命に調べる。そして、それを聞き手にわかりやすく伝えるということです。もう一つは、調べてわかったことをこれからの生活に生かすということです。このねらいの前半部分はどの学年もしっかりと達成できたと思っています。後は、後半部分「これからの生活に生かす」こと、例えば、5年生が提案した環境問題を自分たちなりに解決する方法の一つとして紙の無駄遣いをしない、節電する等、ということがありました。ちょっとした心がけでできることを実践する。それがこのフォーラムが本物になるということだと思います。



避難訓練

2月18日(水)、不審者対応の避難訓練をしました。学校には、毎日非常に多くの訪問者があります。中には正当な理由がなく学校に入ってきて、子どもたちの学習や生活を侵害するような者が現れないとも限りません。いざという時のために、1年に一度この避難訓練を行っています。不審者は、いつ、どこに入ってくるかわかりません。まず、大切なことは、不審者が何人、どこにいるかという情報をすばやく共有することです。そして、子どもたちは可能な限り遠くに逃げて身を潜ませることです。広い学校の敷地の中ですから、教師が常にそばにいるとも限りません。津波の訓練のとき同様、情報をキャッチしたら自分の身は自分で守れるよう、今後もう少しずつ想定を変えて訓練していきたいと考えています。



新1年生体験入学

2月17日(火)、少し寒い朝でしたが、たくさんの新1年生が来校しました。はじめに1年生の教室で国語・算数の授業を見学しました。緊張気味だった子どもたちも、1年生から朝顔の種をプレゼントされるとやっと笑顔が見えました。

休み時間には、体育館で5年生とじゃんけん列車をしました。小さい子どもたちに優しく接する5年生。いつもと違う顔が見えました。新しい「1年生と6年生の交流」が今日からスタートしました。



6年生を送る会

3月3日(火)、全校児童で6年生とのお別れの会を開きました。6年生に楽しんでもらいたいという思いで、歌、ダンス、コント、6年生へのアンケート調査結果の紹介など各学年が工夫を凝らした出し物をしました。最後は、6年生から音楽会で披露した「宇宙戦艦ヤマト」の合奏のプレゼントがありました。音楽会から4か月近くたっていましたが、あのときの迫力ある演奏がそのまま再現され、在校生はその姿をしっかりと臉に焼き付けていました。みんなで校歌を歌うのもこれが最後、今日まで福島小学校を引っ張ってくれた6年生に在校生が精一杯の感謝の気持ちをこめて歌いました。6年生の皆さん、卒業おめでとう！



感謝の会

3月9日(月)、「笑顔あふれる町づくりの会」の皆様を招待して体育館で感謝の会を開きました。この会は、今から12年前に福島の町を笑顔でいっぱいになりたい、そのために会員が率先して町内の皆さんに挨拶をしようという思いから発足した会だと聞いています。毎日、交差点に立って子どもたちが安全に登校できるように見守ってくださったり、第1、3月曜日に学校前で挨拶運動をしてくださったりしています。この日は、子どもたちから感謝の気持ちを伝え、手紙を渡しました。

